

第一章「海月と花火」

女1 ソフトボールの元日本代表

女2 主婦 夫を津波で亡くしている

二人は高校時代 ソフトボールでバッテリーを組んでいた

東日本大震災から7年目 夏

仙台の うみの杜水族館 海月の水槽の前の椅子

女2が座っている 女1が隣に座る

1 P

1 / こんにちは

2 / こんにちは

1 / あれっ、まだ30分前でしょ

2 / 約束？

1 / 早過ぎない

2 / ゆっくりしようと思ってね

1 / ねえ、何で水族館？

2 / 待ち合わせ？

1 / そう

2 / よく来るんだ

1 / 答えになってない

- 2 / カフェの方がよかった
- 1 / まあ・・久しぶり
- 2 / 何年ぶり？
- 1 / 25年くらい
- 2 / そんな訳ないでしょ
- 1 / そうだよ
- 2 / 7年ぶりくらい
- 1 / そうじゃなくて水族館に来たの・・小学校の遠足以来
- 2 / かな
- 1 / なんだっけ・・魚が名誉町民になってて
- 2 / マンボウでしょ、
- 1 / そう、マンボウ、マンボウ・・ウー マンボウ
- 2 / あのね・・松島水族館ね
- 1 / ここ、うみの杜水族館って、いつできたの？
- 2 / 震災後かな・松島水族館が駄目になって・・ここに新しくなって
- 1 / 津波来たの？松島水族館
- 2 / 津波じゃなく地震でやられたみたい

(間)

- 2 / 憶えてる？
- 1 / なに？
- 2 / ♪「よいよい松島水族館」
- 1 / はい？

2 / 松島水族館の歌

1 / そんなのあったんだ

2 / 忘れた？

1 / 忘れた・・・？

2 / ここにもあるの

1 / なに？

2 / うみの杜水族館の歌

1 / 知らないよ

2 P

2 / ……海月（前見て）

1 / 海月ね

2 / 好きなの

1 / 私も

2 / あなたも？

1 / 冷やし中華は、海月がなきや

2 / 食べるのじゃなく、生きてる海月

1 / 大嫌い、海水浴で刺された事あるんだ

2 / …ふわふわ、ゆらゆら、こんな風に生きて行きたいね

1 / いや、私は地に足がついてなきや・・・

（間）

1 / 良夫・・・残念だったね

2 / なにそれ？

1 / お悔やみ

2 / 人の旦那呼び捨て？

1 / 良夫さん・・・こんな時なんて言えばいいの

2 / ご愁傷様

1 / 良夫さん・・・ご愁傷様でした

2 / どうもご丁寧

1 / 何で呼び出したの

2 / 何で黙ってたの・・・カナダ行くのも帰ってきたのも

1 / 半年前か、父が倒れちゃってね

2 / それで帰ってきたんだ

1 / 先月、亡くなっちゃった

2 / ・・・・ご愁傷様でした

1 / ご丁寧にどうも・・・知らせてよ

(間)

1 / 色々忙しくて・・・何で呼び出したの？

2 / 渡したい物あつて

1 / 誕生日は九月だよ

2 / 知ってる、でも、プレゼントじゃない

1 / 知ってる。あんた1回もくれなかったから

2 / そうだっけ？

1 / ソフト部で誕生日にプレゼントくれなかったの、あんただけ

- 2 / 覚えてんだ
- 1 / バッテリー組んでたのに
- 2 / 私はキャッチャーだから受け取るの専門
- 1 / 関係ないでしょ
- 2 / (わざとらしく) はいプレゼント
- 1 / ありがとう (わざとらしく) なにかな〜開けてもいい?
- 2 / どうぞ
- 1 / 写真?
- 2 / うちの旦那とふたりで一緒に写ってる、しかも腕組んで
- 1 / なんで・・・あつ・・・あの誤解しないで
- 2 / 浮気してた?
- 1 / してないしてない
- 2 / うそ
- 1 / 誤解だって誤解、誤解、誤解、誤解だよ
- 2 / 誤解も六階もない
- 1 / 説明させて
- 2 / 弁明?
- 1 / 説明
- 2 / 聞こうじゃないの
- 1 / だから・・・これ花火大会?
- 2 / 二人で行ったんだ
- 1 / ・・思い出した、思い出した?

- 2 / なに？
- 1 / 同窓会・・港祭りで皆集まって・・ほら・・帰りに皆で花火見に行つて・・
- 2 / 腕を組んで
- 1 / ごめん
- 2 / 認めるの？
- 1 / 何を？
- 2 / 浮気？
- 1 / じゃなくて
- 2 / 不倫？
- 1 / じゃなくて
- 2 / 何で謝るの
- 1 / だから誤解を与えたから
- 2 / (笑う)
- 1 / 何笑つてんの
- 2 / 知ってるよ、7年前の同窓会の後、皆で行ったんでしょ？ (笑う)
- 1 / そう！そうだよ震災の前の年だ。
- 2 / 誤解だって誤解、誤解、誤解、誤解だよ・・ははは。五回言ってる
- 1 / あんたこそ誤解も六階もないって昭和か？
- 2 / 私だって同窓会出たでしょ、花火は行かなかったけど、人ごみ嫌いだからね
- 1 / そうそう、ふざけて、冗談だよ、冗談！
- 2 / キスもしてたけど
- 1 / キス？

- 2 / 証拠写真あるんだ
- 1 / 良夫と・・・良夫さんと？
- 2 / 違うよ
- 1 / 誰と？
- 2 / 顧問の佐伯先生
- 1 / 何処に？
- 2 / えっ？
- 1 / 何処にキスしてた？
- 2 / ほっぺ・・・証拠写真見る？
- 1 / 遠慮する（腕組んだ写真見て）これ何処にあったの？
- 2 / ：本の中に挟まってた
- 1 / 本
- 2 / 海の中でね良夫の鞆が見つかって
- 1 / 今ごろ
- 2 / 奥さんが行方不明になった方がね・・・自分で探すって・・・潜水夫の資格とって
- 1 / 見つかったの奥さん？
- 2 / まだみたい・・・それで色々・・・遺品とか見つけてくれんるんだ
で・・・鞆の中の本に挟まっていた
- 1 / 本？
- 2 / 「舞踏会」って本
- 1 / 芥川でしょ
- 2 / えっ？

1 / 「私は花火の事を考えていたのです。
我々の生（ヴィ）のやうな花火の事を。」

2 / 何で？

1 / こう見えても文学少女だから

2 / 少女って

1 / だったから・・・良夫さんが言ったんだよ

2 / 「生（ヴィ）のやうな花火」って？

1 / そう

2 / 花火大会の夜・・・腕組んで言ったの？

1 / しつこい・・・

2 / 私も聞いた事がある。Vièは・・・フランス語で人生 花火のような
儂い人生って意味だよね・

1 / ・花火のような人生ならね 思いっきり生きてやろうって

良夫さんがね・・・背中を押してくれたんだ思ってね

・・・それでカナダ行ったんだ

2 / 思いっきり生きてたんじゃない・・・実業団入って オリンピックでは
メダルとって・・・憧れていたんだから

1 / こつちこそ憧れていたよ・・・普通に結婚して・子供を育てて

2 / 平凡なだけでしょ

1 / オリンピック終わった後ね・・・現役引退してコーチになって
・・・何にもない自分に気づいたんだよ

2 / えっ？

- 1 / 旦那も・・・子供も・・・そんな時に良夫・・・さんに言われて
- 2 / 「生（ヴィ）のやうな花火」って？
- 1 / 何か新しい事しなきゃって・・・鈴木先輩いたでしょ
- 2 / ショート守ってた？
- 1 / カナダでね物産店やってるの「オーロラ」って店
・前から手伝ってて言われてて
- 2 / 英語話せるの？
- 1 / フランス語。モントリオールはフランス語だよ ボンジュール マダム？
- 2 / マドモアゼル！
- 1 / 日本人はね若く見られるんだから
- 2 / そうなんだ
- 1 / 大学生からも声かけられたよナンパ、ナンパ
- 2 / ボンジュール マダムって
- 1 / マドモアゼル
- 2 / 恋したの？
- 1 / 仕事が忙しくてね
- 2 / なんじゃそりゃ
- 1 / 来週また戻るんだ
- 2 / カナダに
- 1 / うん

3 P

2 / 海月 (前見て)

1 / 海月

2 / 海月ってね英語でゼリーフィッシュって言うんだよ

1 / ゼリーの魚

(間)

2 / 良夫も見ているのかな

1 / はい？

2 / 海の中で

1 / 海月

2 / 良夫いなくなってね・何にも無くなっちゃった

1 / 息子さんいるでしょ

2 / いるけどね

1 / 可愛いでしょ

2 / 少年野球はじめた

1 / もしかして、キャッチャーやってるの？

2 / そう

1 / あれね

2 / 何？

1 / 良く言うでしょ・カエルの子は

2 / オタマジャクシ

1 / カエル

2 / 良夫もキツチャーやってたんだよ

1 / 中学の時？ソフトやってたのは知ってたけど

2 / 高校は男子ソフトボール部無かったから

1 / だから女子ソフトのマネージャーになったんだ

(間)

2 / 海月(前見て)

1 / 海月ね

2 / 良夫いなくなった震災の夜にね、白いふわっとした物が見えた気がしたんだ

1 / 白いふわっとした物

2 / 海月みたいな

1 / やめてよ

(間)

1 / これ・・・水クラゲ

2 / 水クラゲか

1 / おっきいね

2 / 縦になったり横になったり・・・開いて閉じて・・・なに考えてんだろね

1 / 海月？

2 / そう

1 / 何も考えてないんじゃない

2 / そう言っちゃおしまいでしょ

1 / 今日はどんなエサのプランクトンいっぱい食べられるかな

2 / って何ですぐ食べ物に持っていくの

- 1 / ずっと食事には気使ってたからね現役時代は
- 2 / さすがアスリートね
- 1 / でも現役引退した途端20キロ太って
- 2 / 20キロ太ったの？見えない
- 1 / 戻ったって・・・さすがにやばいと思ってトレーニングはじめたの
今でも毎日腕立て百回

(腕建て始める)

- 2 / ちよつとなにやってんの
- 1 / 見れば分かるでしょ・・・腕立て
- 2 / 人前で
- 1 / 誰もいないでしょ・・・あんたもやって
- 2 / いいよ
- 1 / いいからやる

(2〜3回でやめる)

- 1 / 体力ないな・・・次、ヒンズースクワット(ヒンズースクワット始める)
- 2 / やめてって
- 1 / あー汗かいた
- 2 / あれっ、なに話してたんだっけ
- 1 / だから海月がなに考えてんだかって
- 2 / そうだ、そうだ
- 1 / ・・目の前に女が二人
- 2 / 一人は体力あるな

- 1 / どっちが綺麗な
2 / どっちもどっち

(間)

- 2 / 海月って、横から見ると花火に見えない？
1 / 見えるね
2 / 良夫も海の中でこんな花火見てるといいな
1 / ……いいね

4 P

- 2 / 人生が夏の花火だったらいいのにね・ぱつと咲いてぱつと散って
1 / なに言ってるの フランスではね40過ぎてから本当の大人の恋が
出来るんだって

- 2 / 頑張らなくちやね
1 / 頑張らなくちやね
2 / まだまだこれから
1 / これから、これから
2 / 何か自信湧いてきた
1 / でしょう

(間)

- 1 / これから行こうよ花火大会
2 / 今日は港祭りか
1 / 行こうよ

2 / だから人ごみ嫌いなんだって

1 / 高校の屋上から見ようよ、よく見たでしょ、あそこなら人いないし

2 / 叱られるって

1 / 大丈夫、私、名誉町民だから

2 / 関係ないと思うけど

1 / この間、講演会頼まれたのね、後輩たちに体育館でオリンピックの話
してくれって

その時グラランドに行って、ほらグラランドのゲートの隙間ちゃんと

チェックしてきたんだ

2 / 何処チェックしてんの

1 / 懐かしいなって、だから忍び込めるよ 非常階段昇って

2 / 屋上に・・行くか・・捕まっても何か盗む訳じゃないし、それに

1 / 名誉町民だから

(二人笑う)

2 / いくか

1 / 行こうか

音楽 QUE Sera Sera

終幕

第二章「前夜」

櫻田 早雪 さくらだ さゆき サーちゃん

浜田 博幸 はまだ ひろゆき ヒロ兄

行方不明の姉 櫻田 夏美 さくらだ なつみ

東日本大震災から7年目 宮城県の港町

浜田博幸の部屋 23時過ぎ テーブルの上に写真立て3つと、テディベアひとつ

写真立てには父親の絵と 母親の絵 夏美の写真が入っている

写真立てに造花を付けている

1P

電話鳴る

博幸／ もしもし、サーちゃん・・・えっ？寝てないよ、まだ。どうしたの？

今から・・・今からって？ もう来てる・・・玄関？

もー：牛じゃないって・・・もー、もー、もー、ちよつと待って・・・

(写真立てを籠にかたずける ドアを開ける)

博幸／ 普通さ、来る前に電話しない？

早雪／ 電話したでしょ・・・おばんですって、でも、おばんじゃないよ(笑う)

博幸／ 花嫁さんがどうしたんですか？こんな時間に

早雪／ 買ひ物のついでにね、ちよつと

博幸／ 買ひ物？

早雪／ 打ち合わせの時、美容師さんに言われたんだよ、結婚式の前夜は化粧水のパックして・・・十分睡眠取って下さいって

博幸／ 夜更かししてるし・・・だから、式場のホテルとったんでしよう

早雪／ 仮設住宅から式場向かうのは嫌だからね、ヒロ兄も泊まればよかったのに

博幸／ 明日は、お袋達、迎えに行かなきゃならないからさ

早雪／ バチエーラパーティーやったんじゃないんだ

博幸／ バチエーラパーティー？

早雪／ ほら独身最後の夜に、新郎がね、はめ外して悪友どもと、カジノ行ったりストリップパーよんだり

博幸／ 欧米か！

早雪／ 化粧水のパックが切れてたからコンビニでね

博幸／ 売ってんのか？

早雪／ うん

(間)

博幸／ お茶どう？

早雪／ 眠れなくなるからなー

博幸／ ローズヒップにハイビスカス。ビタミンCたっぷりのハーブティー

(気取って) お嬢様、お肌にもいいんですよ(お茶を入れる)

早雪／ 誰？(笑う)花婿さんこそ、何やってたんですか？

博幸／ 色々・・・準備だよ

早雪／ 準備って・・・ヒロ兄、サプライズはやめてよね

博幸／ サプライズって？

早雪／ ウェディングケーキの中に隠れるとか

博幸／ ドリフか！

早雪／ これ以上驚くのは、やなんだよね

博幸／ そんなんじゃないよ

早雪／ 昨日ね、変な夢見たんだ、

博幸／ 変な夢？

早雪／ 結婚式が始まっているのに、新郎がいないんだよ、でなんか

成り行きで一人でウェディングケーキをカットする事になるの

博幸／ どんな成り行きだよ

早雪／ で、カットするとケーキの中から新郎が

博幸／ (元気に)お待たせ？

早雪／ (笑う)そうそう、でもね、気が付くと何故か、花嫁が二人いるの

博幸／ 二人？

早雪／ びっくりしたんだけど、あっちもびっくりしてた

博幸／ だろうな

早雪／ 二人ともベールをかぶってて、同時にベールを上げるとあっちは

博幸／ あっちは

早雪／ 私、あっちも私なの、鏡に映ったみたいにな

・あれ、お姉ちゃんだったのかな

(お茶のカップを渡して)

博幸／ ……ドッペルゲンガーじゃない？って言うか…ただの夢だよ

早雪／ (紅い色のお茶見て)綺麗 (飲んで)すっぱ

博幸／（自分も飲んで）山形のおじさん達は？

早雪／もう寝てるよ。・・・夕方ね、ホテルで食事会したんだ。その時おじさんに・・・

早雪・夏美の・・・お姉ちゃんの婚約者と結婚するからって

何も気にしないでいいって、俺達は応援するからって・・・きつと

・夏美も祝ってくれるって・祝ってくれるかな

博幸／・・・祝ってくれるよ

早雪／ねえ、ヒロ兄・・・お姉ちゃん帰ってきたらどうする

博幸／何を（言ってる）・・・

早雪／（笑う）真剣な顔、

博幸／サーちゃん・・・不安なのか？

早雪／全然・・・ごめん・・・

博幸／もう・・・帰ってこないよ・・・帰ってこない（小さく）

（二人お茶を飲む）

早雪／ねえヒロ兄

博幸／なに？

早雪／このままサーちゃん、ヒロ兄っていいのかな、仮にも夫婦になるんではよ

博幸／仮じゃないよ、明日・・・ほんとの夫婦になるんだから

早雪／だよね、やっぱり、あなたとか呼ばなきゃならんのかね、

ねえ、あなた、あなたってば・・・あなたん

博幸／やめろって・・・まあ。明日考えよ

早雪／明日ね（飲んで）ごちそうさま

早雪／ じゃあ帰るわ・明日は、ひとつよろしく

博幸／ 送ってくよ

早雪／ ありがとう（立つ）

博幸／ あのさ・あの

早雪／ ん？

（間）

早雪／ あっ・やっぱサプライズでしょ？ケーキに入るの？

博幸／ 料理だよ

早雪／ ・わかった。皿の上に銀のドーム乗ってるでしょ？

それを取ると顔がジャーン（笑う）

博幸／ なわけないだろ、追加してもらったんだよ料理

早雪／ へー・出席者増えたの

博幸／ まあ

早雪／ 何人？

博幸／ ・・4人分・・かな

早雪／ へー・・・ヒロ兄の友達？

博幸／ いや・（写真が入った籠を出して、中から夏美の写真を撮り出す）

早雪／ お姉ちゃん？・・えっ？

博幸／ 皆んなにも、祝ってもらおうって思ってね

早雪／ それで追加したんだ？

博幸／ まあ・陰膳みたいなもんだけどね・ちゃんと席を用意してやろうっ

て

早雪／ （写真立ての絵を見て）これ・・・もしかしてお父さん

博幸／ わかる

早雪／ だってこのホクロ

博幸／ 写真なかったからね

早雪／ 似顔絵、ヒロ兄が描いたの、うまいね・・・じゃあ

・・・こっちは母さん・・・ありがとう

こんなサプライズなら嬉しいよ・・・似てるねお父さん

博幸／ ほら家族会議で初めて会った時、印象的でき

早雪／ 額の真ん中のホクロでしょ？

ちっちゃい頃のあだ名が「大仏」「仏像」あと「昌夫」

博幸／ 「昌夫」？

早雪／ ♪「白樺、青空、南風」（歌う）

博幸／ 千昌夫か！

（二人笑う）

博幸／ でもこのホクロでお父さんって分かったんだからな、

早雪／ そっか・・・一緒に見つかったのがお母さんで

博幸／ 夏美は、あの日、一緒じゃなかったのかな

早雪／ 一緒だったと思うよ・・・家族会議の予定だったから

博幸／ 何処に行ったんだらうな

早雪／ ・・・・沖繩だよ

博幸／ 沖繩って？

早雪／ ほら、震災から一年ぐらい経ってからかな、こっちの船が沖縄で

見つかったって言う話、憶えてる？

博幸／ ああ、憶えてるよ

早雪／ だからね、お姉ちゃんも、あっちの方に流されたんじゃないかなって

博幸／ ……だったら……温かくていいな

早雪／ あんなに遠くまで流されるなら、どんなに探したって

見つからないはずだよ。

それに、沖縄にはねニライカナイがあるから

博幸／ ニラレバ炒め？

早雪／ ニラしか会つとらん

博幸／ 沖縄の天国だろ、知ってるよ

早雪／ 沖縄の遙か東に、ニライカナイっていう天国があつて

そこは、生きていては、たどり着けない場所。

お姉ちゃんはずっと流されてニライカナイにいるんだよ

そう信じてるんだ。

博幸／ 一人で踊ってるかな

早雪／ ダンス？

博幸／ ああ

早雪／ きつとね

博幸／ きつとな

(間)

早雪／ (父の絵を見て) この絵、本当の仏様みたい……母さんは、観音様かな

(間)

早雪／ ごめんね

博幸／ え？

早雪／ 遺体安置所の入り口で足がすくんじゃってさ、どうしても入れなくて

ヒロ兄が、父さんと母さん、見つけてくれてさ

本当は私が見つけてやらなくちゃいけなかったのにね

たった一人残った、家族なのにね、

博幸／ 一人じゃないよ、俺だって家族だと思ってたし

明日は・・・本当の家族になるんだから

早雪／ ごめんね、弱わちくて

博幸／ 弱くなんかないよ、お父さんお母さんの葬式の時だって

サーちゃん、一回も泣かなかったでしょ

早雪／ 私がしっかりしなきゃ・・・喪主だし、それに、お姉ちゃんいつも言ってた

じゃん「人間は、悲しいから泣くのではなく、

博幸／ 泣くから悲しんだ」・・・ジエームズⅡランゲ説ね

「楽しいから笑うんじゃないよ、

早雪／ 笑うと楽しくなる・・・」

博幸／ いつも言ってたな

早雪／ これ以上、悲しくなりたくないからね・・・無理してでも、笑わなきゃ

(間)

博幸／ 本当、家族会議ってびっくりしたよ

早雪／ ヒロ兄の家ではやんない？

博幸／ 普通やんないよ

早雪／ (父のまね) えー、これから桜田家家族会議を始めます。

このたび浜田博幸さんと夏美が結婚することになりました。

新しい家族が増えます。みんなで祝ってくださいって

博幸／ よく覚えてるね

早雪／ 書記だからね、お父さんが議長で、母さんが副議長、

(父のまね) それでは初めに博幸さんから、ひと言ご挨拶を

(博幸のまね) ただいま、ご紹介にあづかりました浜田博幸です

夏美・・さんとは、大学のダンスサークルで知りあいました

やがて、ダンスのパートナーになりました

これからは、人生のパートナーとして二人で頑張ります(笑う)

博幸／ 笑うなって・・一週間考えたんだから

早雪／ 一週間考えてあれ？ダンスのパートナーから人生のパートナー(笑う)

カツコつけ過ぎ・・。(笑う)

博幸／ 笑うなって・

早雪／ 1回だけ応援に行った事あるよ、ダンスのコンテスト

でも、もつとゆっくりなのかって思ってた

博幸／ 俺達はラテンダンスだからね

早雪／ 本当に、息ぴったりのパートナーだったな・・ごめん

博幸／ 何で謝るの？

早雪／ だって・・ごめんね

(間)

早雪／ 憶えてる？最後に、父さんが「博幸さんに、1つだけお願いがあります」
博幸／ 娘を奪っていく君を殴らせてくれ

早雪／ さだまさしか！・・・私は古い人間だから、お願いだから結婚式までは
子供を作ってくれるなって。

今時は子連れでバージンロード歩く人も珍しくないのにね、

司会の人が間違ったりして「皆様拍手でお迎え下さい、

新郎妊婦の登場です」って（笑う）

（間）

早雪／ あの震災の日も、家族会議があるっていうんで、私はほら、

大学、授業終わってから、福島から、こっち向かって、丁度、

仙台で地震にあって、こっちに着いたのは

2日後だったな・・・ヒロ兄も参加する予定だった？

博幸／ まあ

早雪／ 何の会議だったんだろね、知ってた？

博幸／ ……さあ

3 P

早雪／ じゃあ帰るね、明日は、よろしくお願いします

博幸／ こちらこそ・・・送ってくよ

早雪／ ありがとう

博幸／ ちよっと待って、車の鍵とってくるから

早雪／ あれ、ねえねえ、さつき4人分って言ったよね、食事

お姉ちゃんと父さん母さんあと一人は

(間) 博幸(デイベアを持って)

博幸／ あの日・・・震災の前夜・・・夏美がこの部屋へ来てね

早雪／ うん

博幸／ ・もう結婚できないかもしれないって

早雪／ どうしたの

博幸／ いや・・・子供ができたみたいだって

早雪／ ……

博幸／ 調べてもらったって、とりあえずお父さんに謝りに行くこうって

早雪／ お父さん怒った？

博幸／ 最初は戸惑ってたけど、最後は、まあ、新しい家族がもう一人
増えるだけだからって

早雪／ 新しい家族

博幸／ おめでとうって言うてくれたよ・・・明日、早雪を呼んで

また、家族会議開いて・・・皆で、お祝いしようって

(間)

早雪／ いいのかな、本当にいいのかな・・・どうしよう・・・私・・・どうしよう・・・

本当は・・・すごく不安だったんだ

なんで私なの・・・私でいいの・・・私は・・・(顔を伏せる)

(間)

博幸／ (父の絵を顔の前に持ってきて)

えー、これから桜田家の家族会議を行います。

このたび浜田博幸くん・・・早雪が結婚することになりました。
それでは初めに博幸さんから、ひと言ご挨拶を（父の絵を外して）
ご紹介に預かりました浜田博幸です。

遺体安置所で家族を探すという事は・・・何百人の

・・・仏様と向き合うという事です・・・突然、人生を奪われた人達

・・・どんな夢があったんだろう・・・どんな思いが残ったんだろう

代わりに、僕がここに安置されていても、何の不思議もない、だから

僕は・・・残された命なら・・・思うがままに生きて行こうって

一人遺されて、必死に生きている早雪と・・・家族になろうって

（父の絵を顔の前に持ってきて）

明日・・・新しい家族が増えます。みんなで祝ってください

早雪、おめでとさん

（母の絵を顔の前に持ってきて）おめでと、さゆちゃん

（姉の写真を胸の前に持ってきて）さゆ、おめでと

（テディベアを手に持って）おめでと・・・おばちゃん

（早雪 涙が止まらない）

博幸／ いいんだぞ、泣いたって・・・いいんだよ・・・無理に笑わなくなつて

（ 間 ハーブティを入れる）

博幸／ サーちゃん

（振り返ると 顔に化粧水の白いパックをしている）

（姉の写真を顔の前に持ってきて）びっくりさせんなよ もー

早雪／ 牛？

博幸／ もー、もー、もー

早雪／ 泣き顔、見せたくないじゃん

博幸／ 似合うね・・・そんなに美白だった

(ふたり少し笑う)

(間 ハーブティーを飲む)

早雪／ ねえ、やってみようかサプライズ

博幸／ サプライズ

早雪／ ほらケーキから出るやつ、下見の時、ケーキ見たでしょう？

・・・7段重ねで、2メートル以上あったでしょう？

あれハリボテだよ、中に入れるよね

博幸／ 面白そうだな

早雪／ ほら、ケーキの上に人形乗ってたでしょ？

あれとおんなじポーズでケーキの中から登場って、どうよ

博幸／ どんなポーズだっけ

早雪／ 新郎新婦が腕組んでるやつ、ほらやって見て

(二人腕を組む ふと組んだ腕の腕時計を見て)

博幸／ サーちゃん

早雪／ 何？ヒロ兄

博幸／ ほら・・・明日が・・・今日になったよ

早雪／ よろしくお願いします

博幸／ こちらこそ

早雪／ ねえ、あなた

博幸／ やめろって

早雪／ ヒロ兄

博幸／ なんですか？・・・あなた

早雪／ やめてって・・・ねえ、私もやってみようかな

博幸／ ん？

早雪／ ダンス・・・教えてよ

博幸／ まあ・・・いいけど・・・じゃあ・・・こうやって

(二人向き合ってダンスの姿勢) スロー、スロー、クイック、クイック、

(ゆっくり踊り出す)

終幕

第三章 「ニライカナイの風」

男 タクシーの運転手

震災で妻を亡くし潜水夫の資格を取って妻を探している

港町の小さな船着き場

東日本大震災から3年目の港祭りの夜

遠くから祭りばやしが聞こえる

堤防に腰かけ 流し灯籠に南国の花の絵を描いている男

静かに灯籠に話しかける

1P

聞こえつか？祭りばやし。

今日はな・・・三年ぶりに港祭りが、復活したんだぞ

花火もな、天国から見えるようになって、いつもより派手に打ち上げんだぞ

灯籠流しもあるんだ・・・ほれ、昔はな、ただ、ただ、ご先祖さんに向けて流してたげどな

今日はな・・・あの日・・・いねぐなった人達に向けて、想いを込めて流すべって事になっとな

んだがら、こうやって自分で絵、書いて、話しかげでんだよ

ほれ・・・昔・・・なんだっけ・・・あの映画・・・二人で見だべ・・・あの・・・亡くなった奥さんに向けて瓶の中に手紙を入れて海に流すやつ・・・ほれ・・・ケビン・コスナーが出でた・・・

んだ・・「メッセージ・イン・ア・ボトル」(Message in a Bottle) だ
そうすると、さしずめ俺はケビン・コスナーがってなにカッコつけでんのがって笑
うべな

これは「メッセージ・イン・ア・灯笼」だっちな(少し笑う)

(灯笼に)

おーい元気が?・・いねぐなった人に元気がっておがしいな・・んでも・・元気が?
お前が帰ってきたらな、色々話てえ事、いっぺあったのに・・いざ話せつとなつと
なに話せばいんだべな

んだ、サスケ帰ってきた・・って何で一等最初に猫の事、話すんだがな

お前心配してだからな・・震災の前の日にいねぐなってな、

やっぱ動物の勘ってやつで、津波来るの分かったのがな

波が引いてな、一週間ぐれして、泥だらげで、ひよっこり帰ってきた

黒猫だから忍者みだいでサスケって名前つけただけど・・あれでは灰猫だな

・・お前も・・ひよっこり、帰って来つといいのにな

あのな、おまえ、みつかんねがらな・・まだ、葬式あげでねんだ・・

だから・・位牌もねんだよ

位牌って言えばな・・昔、婆ちゃんがな、亡くなった爺ちゃんの位牌に向かって

お茶つこ2人分用意してな、何十分も話しかけでだな・・

ある時さ、あんまり長いんで、見みだら座布団に正座して、ねむかげしてだ

夢の中であってだのがな

亡くなった人もな、思えば、そこに感じる事でぎんのがな

2 P

俺はな・・・とりあえず元気だっちゃ

仕事もあいかわらずタクシーの運ちゃん、やってんだ

ほれ、向こうの海岸で祭りやってんだけど、灯籠もな、何千個も流すって言うんで

俺の灯籠な、他のど紛れっと困つから、この船着き場で一人で流す事にしたんだ

この船着き場はな・・・いつもお前を探しに船を出す所なのさ

俺な・・・お前を探してんだ・・・潜水夫の資格とってな・・・休みのたんびに潜ってんだよ

震災の直後はな、警察とか自衛隊とか海上保安庁とかボランティアの人まで皆して、行方不明の人探してくれてな

んでも時間がたつにつれで、段々と探すのも減っていったな・・・

まだ、千人以上見つかんねのにな

んだがら・・・いても立ってもいらんなくなって、自分で探すべってな・・・

ただ、じっと待ってんのと、自分で探すのでは大違いだからな

それに、探し続けるうちはな、まだお前と繋がってるような気がしてな

不思議なもんだな、いなくなつてからの方が、お前のことを、もつと思つうようになつてな

お前が話した言葉どが、好きだった本どが・・・一緒に見た映画、色々な想い出の

品物どが

なあ、お前が好きだった寺山修司さんの「涙は人間が作った一番小さな海です」っていうの

憶えでるぞ、何でも、これは、世界で一番短い叙情詩なんだって

あの日がら、海も溢れる程の、涙が流れだんでねえがな

あの日はな・・家はなんとが流されなかつたげど

一階の真ん中ぐらいまで波が来てな・・電化製品全滅だった

悔しいな、買ったばかりの五十インチのテレビ駄目になつてな、ほれ、お前と二人で、好きな映画いっぺ見っぺど買ったのにな・・んでも、一緒に見る人いねえのが一番悔しいな

町はな、十年以上かがるって言ってだ瓦礫もな・・一年でなぐなつたげどもんでも三年で無くなるって言ってだ、仮設住宅は、まだ、いっぱい人住んでんだ

3P

休みの度を探してんだげど・・中々見つかんねえな・・色々な 鞆とか遺品見つけて、お礼言われだりとがはしてんのさ

ほれ、浜育ちだからな、泳ぎは得意だったけど潜るのはな・・新婚旅行以来がな憶えでつか？シュノーケルをつけて潜ったよな、沖縄の海はほんと綺麗だったな

あ

魚もサンゴもな、地上の花々が映ったように色と光に満ちていだな

天国ってああゆう所かもな

(灯籠を高く揚げて)

分かるがな、これ沖縄の花だぞ、ハイビスカスと・ブーゲンビリアだ

ごめんな、また沖縄、連れでいぐって言ったのに、忙しくて約束守れなくて
停年になったらまた行くべってな、貯金はしてだんだげどな

4P

んだ、震災から一年ぐらいしてな、沖縄の海でこっちがら流されだ船が見つかった
んだよ

お前もな、もしかして・沖縄まで流されでんのがな、だったら、こっちより、あ
ったかくていいべな

旅行ガイドさんから聞いたよな

ほれ、沖縄にはな、ニライカナイって言う天国があるって話、憶えでるが？

遙か遠い東の海の彼方にあってな、そんでニライカナイに行ったな魂はな、遺され
た親族の守護神になってくれるんだってな・お前も見守ってくれんのがな、

天国、パラダイス パラディソ エデン 極楽 楽園 あの世 黄泉の国 常世って

色々呼び名があるけどな

俺は元々、天国だの霊魂だの信じなえ人間だったんだ

でも・・震災から暫くしてな、やっと燃料が入って

避難所やら、買い出しなんかでお客さん乗せて忙しかったんだ

ある夜な、赤ん坊抱いた、若いお母さん乗せたんだよ

浜の方の住所言うがら、そこは津波で何も無くなった所だったんだけど

行って降ろしたらな、海の方に歩いて行ったんで

気になって追いかげでな、お客さん、どうしたんですかって言ったら

「運転手さん・・私、死んだんですか？」って言うんだよ

お客さんにかだつてんのって言ったら

目の前でな・・スツと海の方に消えていった・・あれは・・仏さんだったんだな

それから、海から山の方に走って行く大勢の人影も見だな

そんで、また、仏さん乗せたらな、お前の事、尋ねてみるべと思ってたけど

四十九日過ぎたがらかな、パツタリ会わねくなったな

5 P

ほれ、お前が勤めでだ信用組合の三階の屋上な・・お前は、そこで海眺めながらな

潮風に吹かれて昼飯食うの好きだって言っただよな・・まさかな・・あそごまで波

来るとはな

・・どんなに寒かったべ、どんなに恐ろしかったべな

俺が、もっと早く助けに行ったらな。

あの日はな、お客さん乗せて、登米の石森章太郎のふるさと記念館まで行ってだんだよ

お客さん下ろしたら・・・地震が来てな、早く戻るべど思ったんだけど、道は波でやられて、

橋もな所々道からせり上がっていでな・・・マンホールなんかは、キノコのように盛り上がってだんだ。

やっと山道抜けで・・・町が見える所さ来たらな

真っ黒い波がやってきて、町が灰色の泥におおわれだ

そこにな、恐ろしい位、真白い雪が降ってきてさ・・・白黒の世界

地獄っていうのはあんな色のない世界かもしれないな

なんかな、あの日から色を色として感じる事ができなくなったような気がすんだ
いや、タクシーの運転手だからな、もちろん信号は赤は止まれ、青は進めわかってるんだけどもな

6P

今日、港祭りでな・・・何十隻の船が、あの日、流されてしまった船の分も一緒にな色とりどりの大漁旗を、太陽の光の中で、風になびかせでな

中には、あの日、いねぐなってしまった子供達の為にな、でっかい鯉のぼりも・・・

緋鯉に真鯉

空を泳いで、港をめぐっていたんだ

それ見でだらな・・・あー世の中にはこんなにも、色が溢れているんだなって、改めて感じだんだ

そんで、今日も午後からな、お前を探しにまた海に潜ったらな

深緑の海藻とか、レンガ色の中にな、オレンジ色が輝くホヤの群生どが、銀色にかがやく魚の群れどが・・・感じる事が出来たんだ

そんでな、あらためで・・・海も、空も青がっただんなんて思ってたさ

これ憶えてっか？（貝殻出して）新婚旅行時のお土産

（耳に当てる）お前、こうやって耳に当てると沖繩の風の音が聞こえてくるって言うってたな

この貝殻を灯籠に入れっでやから、水先案内人になってくれっといいな

（灯籠にいれる）風の音を頼りに進んでいけな

うまく描けだがな・・・俺、字は下手だけど・・・絵はまあまあがな

（数発の花火が打ち上がる　それを眺めて）

やー・・・始まったな

この灯籠の灯りは、あんな花火みたく派手な光ではないけど

俺の思いがこもった灯りだから、きっと・・・見つけてけるな

（花火が連発で打ち上げる　鮮やかな大きな光と音の中）

おーい風、運んでくれな・・・俺は・・・

（花火の音に言葉がかき消される　　ゆっくりと海に向かって歩き出す）

エピローグ

灯籠を抱えた　女1、女2　博幸　早幸　現れ花火見上げる

終幕